

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／その他資産（商品）
信託期間	無期限（2011年2月7日設定）
運用方針	主として純金上場信託（現物国内保管型）受益証券への投資を通じて、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。純金上場信託（現物国内保管型）受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。
主要運用対象	純金上場信託（現物国内保管型）受益証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	受益証券発行信託の受益証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 純金ファンド

愛称：ファインゴールド

第9期（決算日：2020年1月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 純金ファンド」は、去る1月20日に第9期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指標(指標価格)		受益証券の発行信託受益証券比率	純資産額
	(分配落)	税金	み配金	騰落	騰落		
	円	円	%		%	%	百万円
5期(2016年1月20日)	10,888	0	△15.9	4,104	△15.7	99.9	4,809
6期(2017年1月20日)	11,665	0	7.1	4,465	8.8	99.9	7,929
7期(2018年1月22日)	12,298	0	5.4	4,747	6.3	99.9	13,044
8期(2019年1月21日)	11,620	0	△5.5	4,521	△4.8	100.0	17,069
9期(2020年1月20日)	14,062	0	21.0	5,537	22.5	100.0	24,353

(注) 当ファンドの参考指数(指標価格)は、東京商品取引所における金1グラム当たりの先物価格をもとに現在価値として三菱UFJ信託銀行が算出した理論価格です。参考指数(指標価格)は、日本における金の店頭小売・買取価格や海外で公表される取引価格とは異なります。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指標(指標価格)		受益証券の発行信託受益証券比率
	騰落	騰落率	騰落	騰落率	
(期首) 2019年1月21日	円	%		%	%
1月末	11,620	—	4,521	—	100.0
2月末	11,938	2.7	4,615	2.1	100.0
3月末	12,021	3.5	4,696	3.9	100.0
4月末	11,829	1.8	4,594	1.6	100.0
5月末	11,850	2.0	4,601	1.8	99.9
6月末	11,632	0.1	4,530	0.2	100.0
7月末	12,467	7.3	4,907	8.5	100.0
8月末	12,781	10.0	4,997	10.5	100.0
9月末	13,401	15.3	5,235	15.8	100.0
10月末	13,220	13.8	5,174	14.4	100.0
11月末	13,333	14.7	5,232	15.7	100.0
12月末	13,088	12.6	5,136	13.6	100.0
(期末) 2020年1月20日	13,478	16.0	5,310	17.5	100.0
	14,062	21.0	5,537	22.5	100.0

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

第9期：2019年1月22日～2020年1月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第9期首	11,620円
第9期末	14,062円
既払分配金	0円
騰落率	21.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ21.0%の上昇となりました。

基準価額の変動要因**上昇要因**

金価格が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

円高・米ドル安となったことが基準価額の一時的な下落要因となりました。

第9期：2019年1月22日～2020年1月20日

投資環境について

▶ 金市況

金価格は上昇しました。

期首から2019年5月頃までは一進一退の展開となり、金価格は小幅な値動きが続きました。

6月以降、9月にかけて米国10年国債利回りが低下、金利の付かない金の相対的な魅力が高まり、金価格は上昇しました。秋以降は米国10年国債利回りや為替市況も落ち着き、金価格は再び一進一退の展開となりました。

期末にかけては中東情勢の緊張の高まりなどを受け、安全資産とされる金を買う動きが強まり、金価格は上昇しました。

▶ 為替市況

米ドル・円レートはやや円安・米ドル高となりました。

期首から2019年5月頃までは、米国利上げ期待の後退や米中通商協議を巡る思惑などが交錯する中、狭いレンジでの推移が続きました。

6月以降、世界景気の減速懸念が徐々に強まり、8月から9月にかけてはリスクオフの動きが加速、円高・米ドル安が一段と進みました。

その後、期末にかけては世界景気の先行きに対する悲観的な見方が後退し、米ドルが買い戻される展開となりました。

期首、期末で見ると米ドル・円レートはやや円安・米ドル高となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

純金上場信託（現物国内保管型）を主要投資対象とし、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざして運用を行いました。

▶ 参考指数との比較

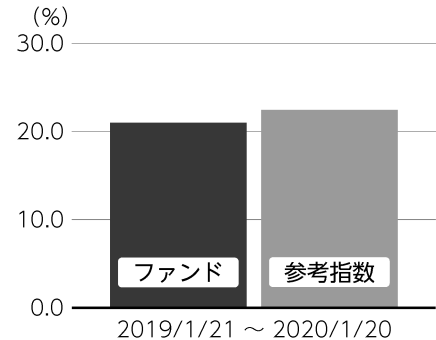
金価格が上昇したことに加え、円安・米ドル高も重なり、円ベースでの金価格は上昇しました。その結果、参考指数は期首と比べて22.5%の上昇となり、当ファンドの投資対象である純金上場信託「金

の果実」についても21.7%上昇しました。当ファンドと参考指数のカイ離のうち、△0.7%程度は参考指数と当ファンドの投資対象である純金上場信託「金の果実」の値動きが必ずしも一致しないことに起因するものです。また、△0.8%程度は当ファンドにおいて一定のキャッシュを保有していることや信託報酬、取引コスト等によるものです。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
参考指数は指標価格です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第9期
	2019年1月22日～2020年1月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-）%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	4,654

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

純金上場信託「金の果実」を高位に組み入れることにより、わが国の取引所における金価格の値動きをとらえることをめざします。

2019年1月22日～2020年1月20日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	68	0.542	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(31)	(0.244)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.244)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	68	0.545	

期中の平均基準価額は、12,605円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

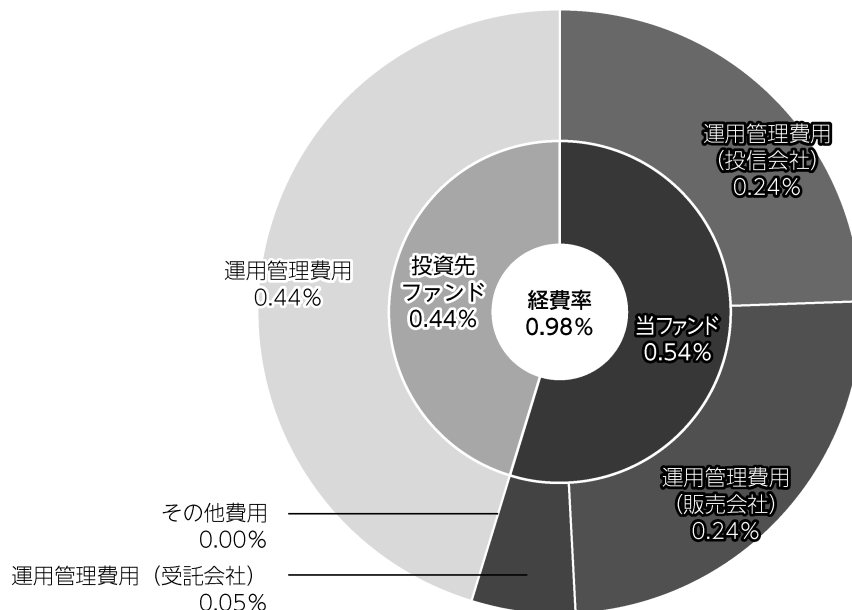
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は0.98%**です。



経費率 (①+②)	(%)	0.98
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.54
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.44

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

○売買及び取引の状況

(2019年1月22日～2020年1月20日)

受益証券発行信託の受益証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	純金上場信託（現物国内保管型）	千口 1,579	千円 7,408,331	千口 904	千円 4,366,642

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年1月22日～2020年1月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
受益証券発行信託の受益証券	百万円 1,676	百万円 7,408	22.6	百万円 1,433	百万円 4,366	32.8

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
受益証券発行信託の受益証券	百万円 7,408	百万円 4,366	百万円 24,343

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2020年1月20日現在)

国内受益証券発行信託の受益証券

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		
		口 数	金 額	口 数	評 価 額	比 率
	純金上場信託（現物国内保管型）	千口 3,926	千円 18,326,000	千口 4,601	千円 24,343,939	% 100.0
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	3,926 1	18,326,000 1	4,601 1	24,343,939 <100.0%>	

(注) 比率および合計欄の〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

【ETF（上場信託）の概要】

ETFの直近の入手しうる有価証券報告書等から抜粋して作成しています。

ファンド名	純金上場信託（現物国内保管型）（愛称：「金の果実」）
内容	金地金を信託財産とした信託に係る受益権を金融商品取引所に上場し、受益者の投資に資するよう受託者が主として金地金を信託財産として管理及び処分することを目的とするETFです。
指標価格	金地金の現在価値を算出するために、東京商品取引所における金1グラムあたりの先物価格を、金のフォワードレートで現在価値に引き直した理論価格として受託者が算出します。
決算月	1月

【損益計算書】

		(単位：千円)
		(自 2018年1月21日 至 2019年1月20日)
営業収益		
	その他の事業収益	(注1) 11,121
	営業収益合計	11,121
営業費用		
	受託者報酬	242,453
	その他費用	11,079
	その他の事業費用	(注2) 37
	営業費用合計	253,570
営業損失(△)		△242,449
営業外収益		
	受取利息	—
	営業外収益合計	—
経常損失(△)		△242,449
税引前当期純損失(△)		△242,449
当期純損失(△)		△242,449

(注1) その他の事業収益とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による利益であります。

(注2) その他の事業費用とは、信託約款第23条に基づく信託財産の売却による損失であります。

【信託財産を構成する資産の内容】

金地金

資産の種類	金地金
品質	信託契約に定める所定の要件(注1)を満たすもの
質量	14,544,989.196g(2019年1月20日時点)(注2)
価値	61,982,389,808円(2019年1月20日時点)(注3)
保管場所	サブ・カストディアンの倉庫(日本国内)

(注1) 純度が99.99%以上のものを指します。

(注2) 受託者は、信託報酬等の支払い等に必要限度で信託財産を構成する金地金を売却しますので、信託財産を構成する金地金の質量はかかる売却により減少します。売却される信託財産を構成する金地金の質量は、信託報酬等の額と売却時における信託財産を構成する金地金の市場価格によって異なります。また、信託財産は、追加信託により増加し、転換により減少する場合があります。

(注3) 計算期間末日(2019年1月20日)時点における金地金の総額(簿価)を記載しております。

○投資信託財産の構成

(2020年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
受益証券発行信託の受益証券	千円 24,343,939	% 98.2
コール・ローン等、その他	443,262	1.8
投資信託財産総額	24,787,201	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年1月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	24,787,201,696
コール・ローン等	443,261,786
受益証券発行信託の受益証券(評価額)	24,343,939,910
(B) 負債	433,477,649
未払金	321,398,000
未払解約金	50,957,685
未払信託報酬	60,805,693
未払利息	145
その他未払費用	316,126
(C) 純資産総額(A-B)	24,353,724,047
元本	17,319,136,746
次期繰越損益金	7,034,587,301
(D) 受益権総口数	17,319,136,746口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,062円

<注記事項>

- ①期首元本額 14,689,878,686円
 期中追加設定元本額 12,491,491,495円
 期中一部解約元本額 9,862,233,435円
 また、1口当たり純資産額は、期末14,062円です。

②分配金の計算過程

項 目	2019年1月22日～ 2020年1月20日
費用控除後の配当等収益額	—円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	2,851,087,554円
収益調整金額	4,999,590,248円
分配準備積立金額	210,721,893円
当ファンドの分配対象収益額	8,061,399,695円
1万口当たり収益分配対象額	4,654円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況 (2019年1月22日～2020年1月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 65,412
受取利息	594
支払利息	△ 66,006
(B) 有価証券売買損益	3,252,207,235
売買益	4,190,422,296
売買損	△ 938,215,061
(C) 信託報酬等	△ 113,534,017
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	3,138,607,806
(E) 前期繰越損益金	△ 76,863,771
(F) 追加信託差損益金	3,972,843,266
(配当等相当額)	(4,999,590,248)
(売買損益相当額)	(△1,026,746,982)
(G) 計(D+E+F)	7,034,587,301
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	7,034,587,301
追加信託差損益金	3,972,843,266
(配当等相当額)	(4,999,590,248)
(売買損益相当額)	(△1,026,746,982)
分配準備積立金	3,061,809,447
繰越損益金	△ 65,412

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。